

計画段階評価について
山陰道（みすみ三隅～ながと長門）
意見聴取結果（第2回）

令和4年7月27日

国土交通省 中国地方整備局

1. 第2回意見聴取の概要	・・・	2
2. 第2回意見聴取の結果（回答者属性）	・・・	6
3. 第2回意見聴取の結果（重視すべき事項）	・・・	13
4. 第2回意見聴取の結果（属性別クロス集計）	・・・	16

1. 第2回意見聴取の概要

1. 意見聴取の概要

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等での道路利用者アンケートの常設やインタビュー調査を実施。
- 山陰道アンケート調査ポータルサイトを作成し、WEBアンケート調査も実施。

■道路利用者アンケートの常設



ポスターを設置

投票箱を設置

アンケートを設置

道の駅街街道西ノ市での設置状況

■道の駅等でのインタビュー調査

新型コロナウイルス感染症対策として、タブレットを用いたビデオ通話によるヒアリングを実施(全7箇所を実施)



タブレットの設置

ビデオ通話による対話状況

元乃隅神社での調査実施状況(令和4年2月11日(金)～13日(日))

■アンケート調査ポータルサイトの作成



Webアンケートページへのリンクを設定



二次元コード

山陰道(三隅～長門)アンケート実施中(～R4.2.28)

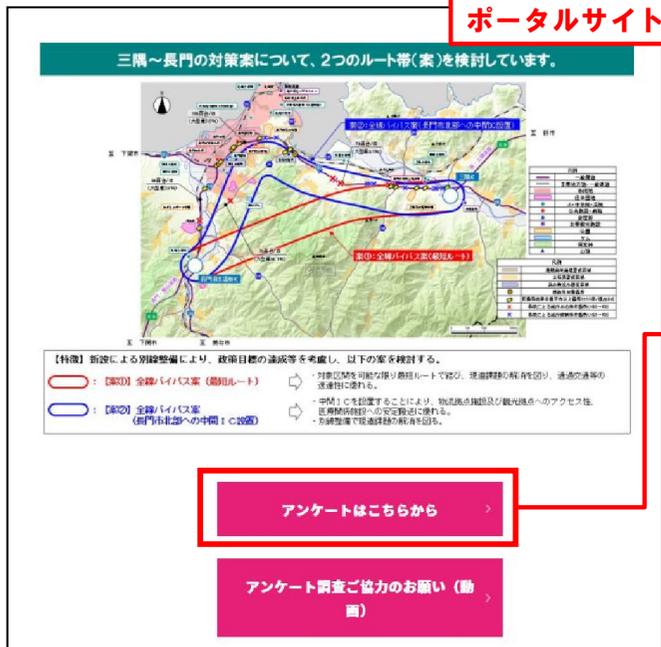
山陰西部国道事務所HP

ポータルサイト



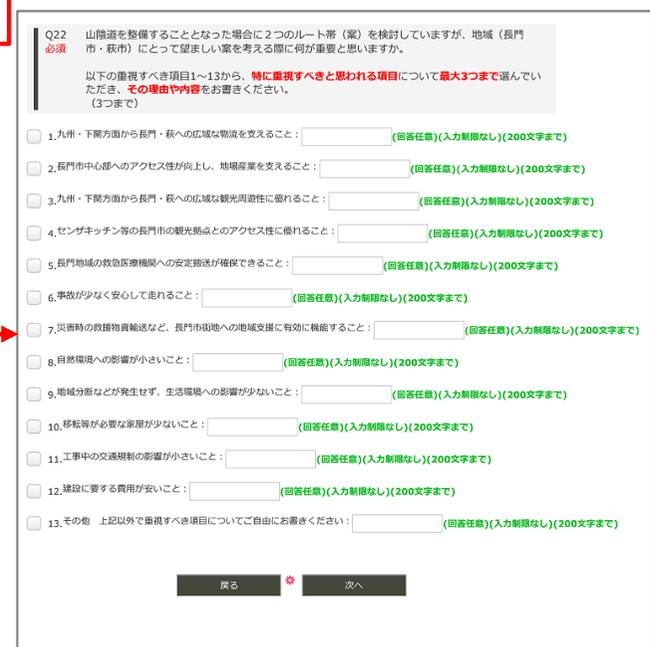
ポスター・チラシ等に二次元コードを添付

広報用のポスター



アンケートはこちらから
アンケート調査ご協力をお願い(動画)

アンケート調査ポータルサイト



Webアンケートの実施画面

1. 意見聴取の概要

○回収率向上に向けて、新聞折込広告の配布や広報紙への案内掲載、成人式でのアンケートの配布、ケーブルテレビによる広報を行った。

■新聞折込(令和4年1月23日(日)朝刊に折込)



新聞折込広告(表面)

■広報紙(広報ながと 令和4年1月号に同封)



長門市広報紙「知っちょこ」

■長門市成人式でアンケート票を配布(令和4年1月3日(月))



■ケーブルテレビ

※下記期間で放送

・長門CATV: 令和4年1月19日(水)~令和4年2月28日(月)

・萩CATV: 令和4年1月21日(金)~令和4年2月28日(月)



1. 意見聴取の概要

■意見聴取(アンケート)内容

質問事項

- 特に重視すべきと思われる項目
- アクセスすべき施設・拠点等
- その他の懸念事項や配慮事項

【アンケート質問票】 (回答はがきに記載してください)

提示した対策案に対して、みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

質問1 山陰道を整備することとなった場合に2つのルート帯(案)を検討していますが、地域(長門市・萩市)にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑬から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること
- ② 長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること
- ③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること
- ④ センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること
- ⑤ 長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること
- ⑥ 事故が少なく安心して走れること
- ⑦ 災害時の救援物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること
- ⑧ 自然環境への影響が小さいこと
- ⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと
- ⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと
- ⑫ 建設に要する費用が安いこと
- ⑬ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 長門市内へのアクセスを検討する際に、どのような施設・拠点等にアクセスすべきと思いますか？ご自由にお書きください。

質問3 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

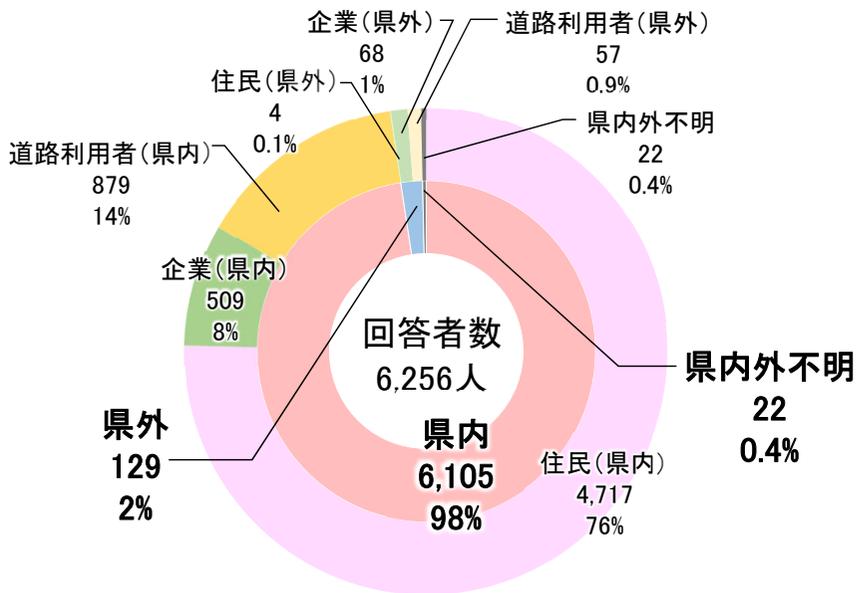
2. 第2回意見聴取の結果 (回答者属性)

2. 第2回意見聴取の結果（回答者属性）

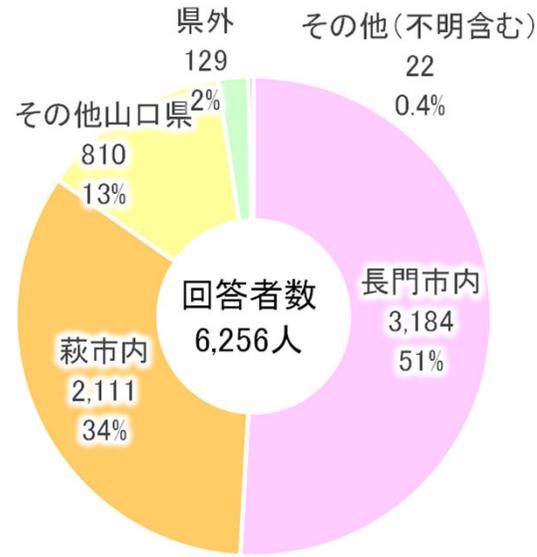
1) 回収結果概要

- アンケート回答数は6,256人。うち住民が約8割を占め、企業及び道路利用者がそれぞれ約1割を占める。
- 長門市内、萩市内の2市で全体の約9割を占める。県外の回答者は約2%となっている。
- 年代では60代以上が全体の約6割となっている。

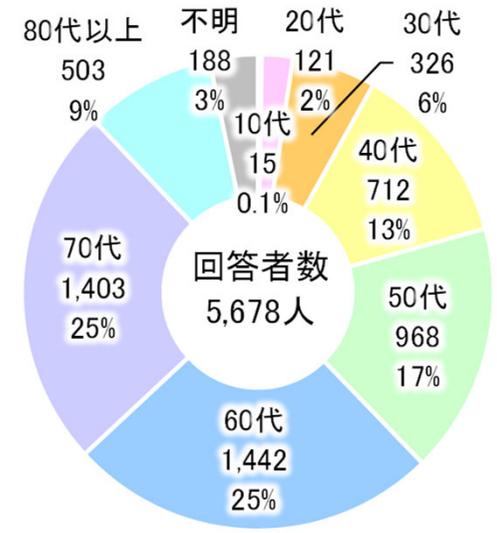
アンケート回収状況



回答者住所



回答者年代



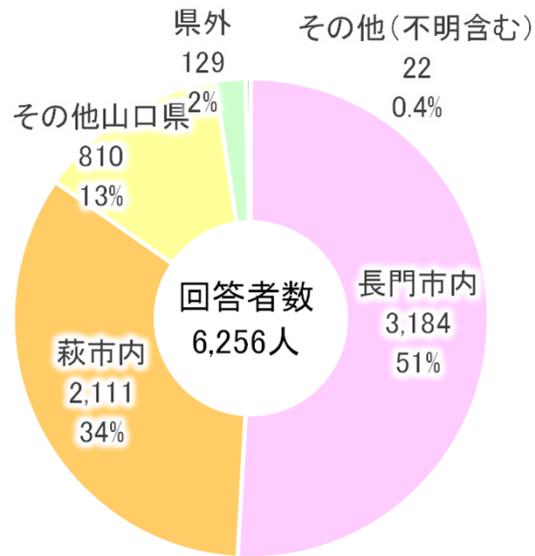
※回答者数6,256人は住民アンケート、事業所アンケート、道路利用者アンケートの合計。回答者年代は事業所を除く。

2. 第2回意見聴取の結果（回答者属性）

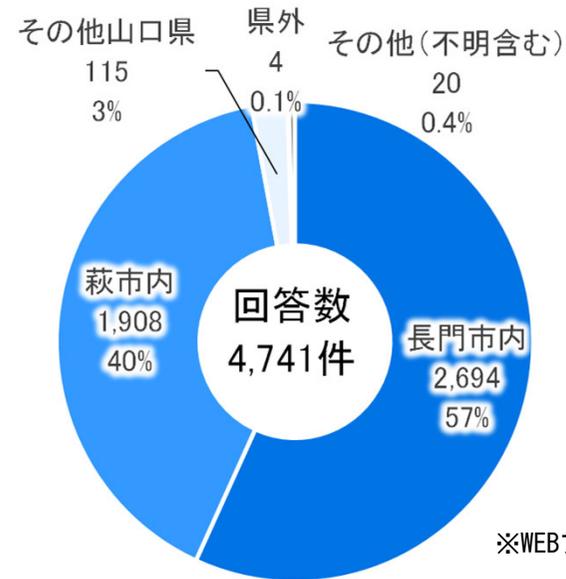
2) 対象者別の住所特性

〇県外の回答率が高いのは、事業所アンケートの12%、次いで道路利用者アンケートの6%となっている。

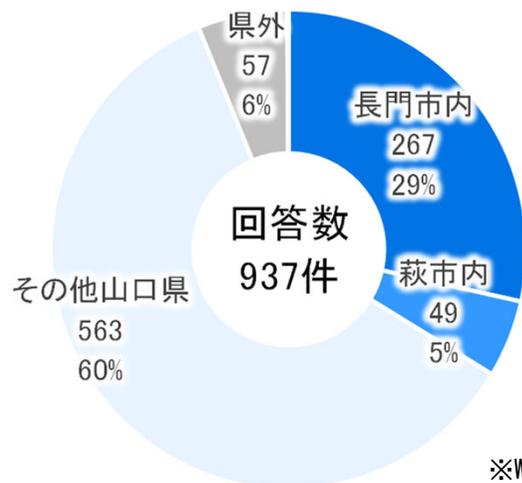
全体



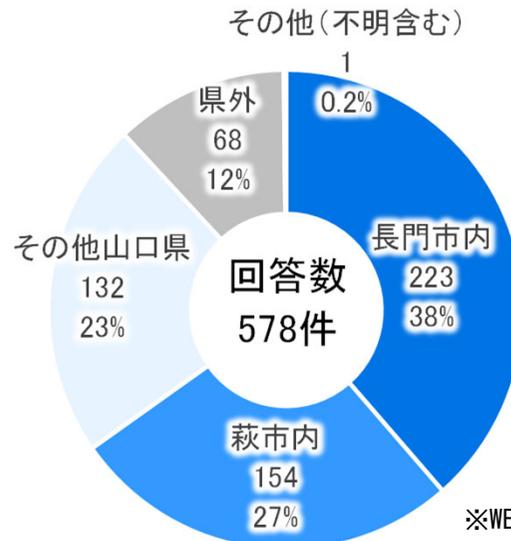
地域住民アンケート



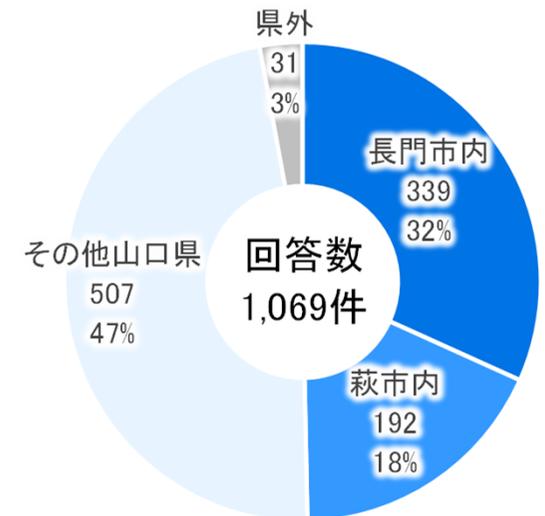
道路利用者アンケート



企業アンケート



WEBアンケート

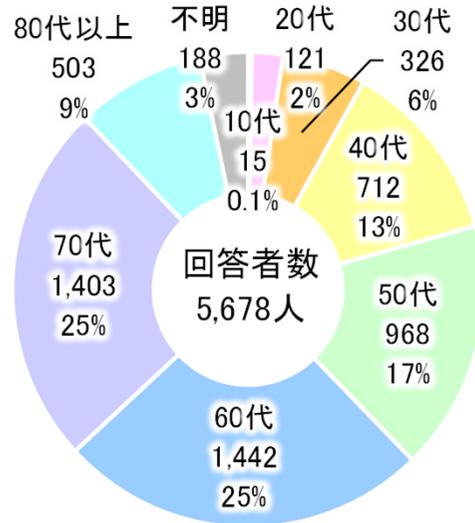


2. 第2回意見聴取の結果（回答者属性）

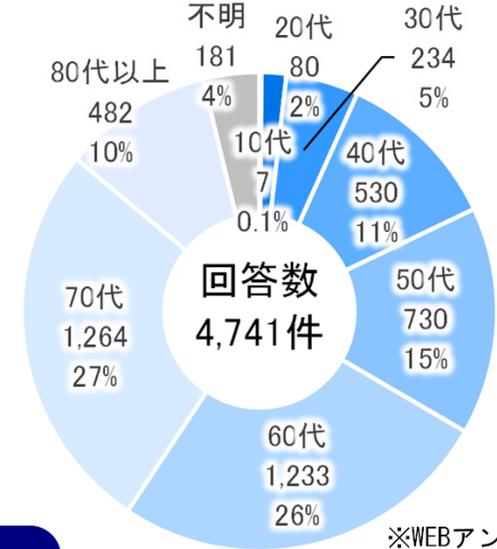
3) 対象者別の年代割合

- 地域住民アンケートは、60以上の回答率が約6割を占めている。
- 道路利用者とWEBアンケートは、30代～50代の回答が多くなっている。

全体

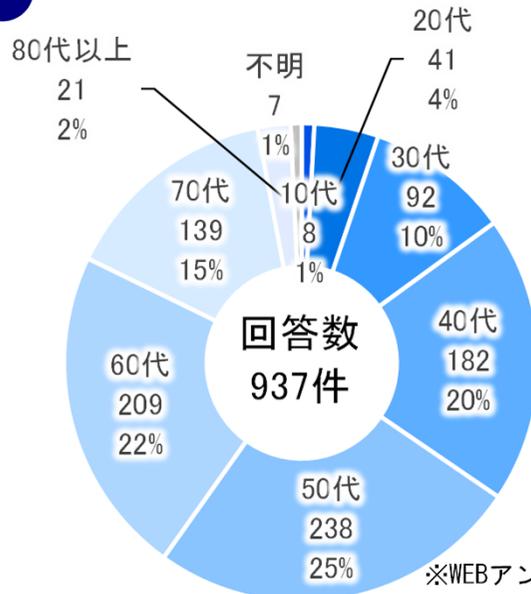


地域住民アンケート



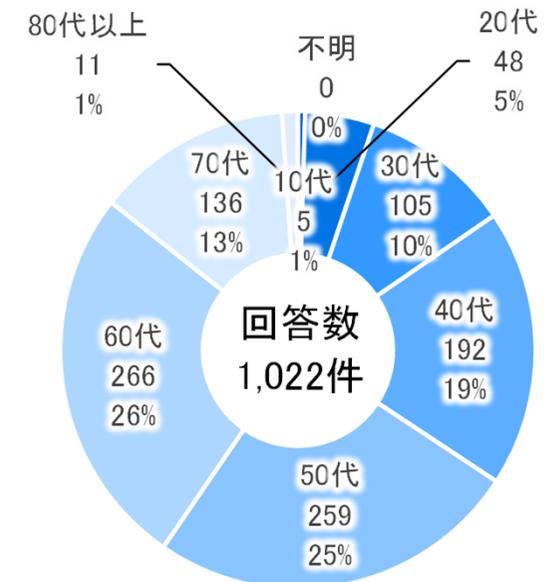
※WEBアンケート含む

道路利用者アンケート



※WEBアンケート含む

WEBアンケート

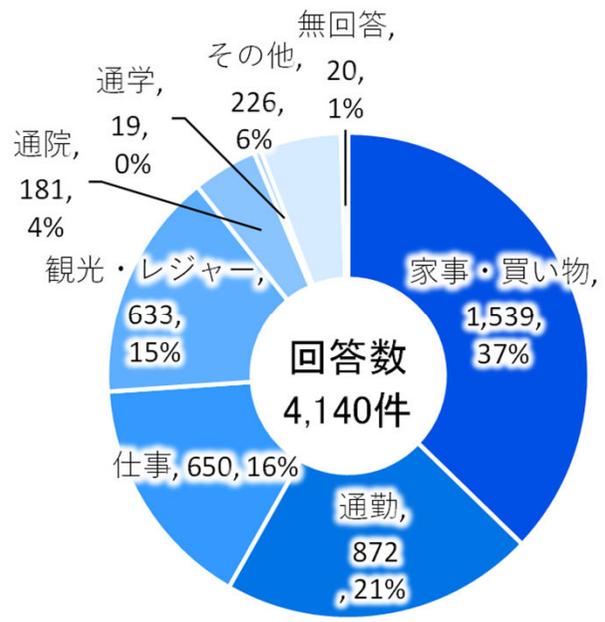


2. 第2回意見聴取の結果（回答者属性）

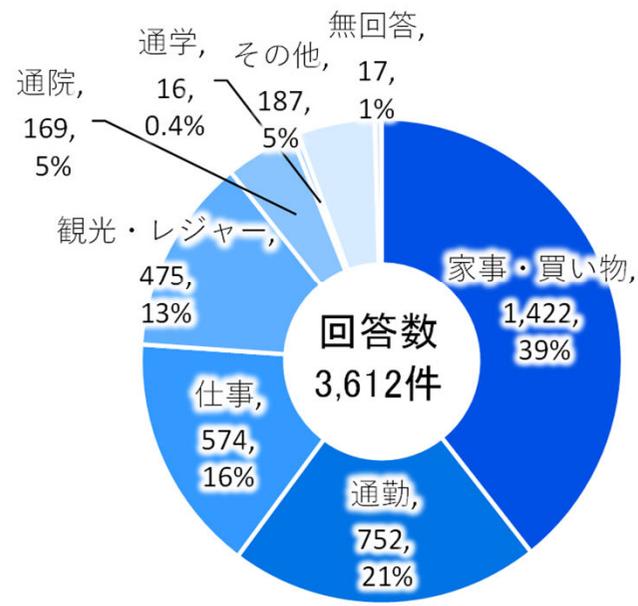
4) 対象者別の利用目的特性

○利用目的では、家事・買い物がもっとも多く、次いで通勤、観光・レジャーとなっている。

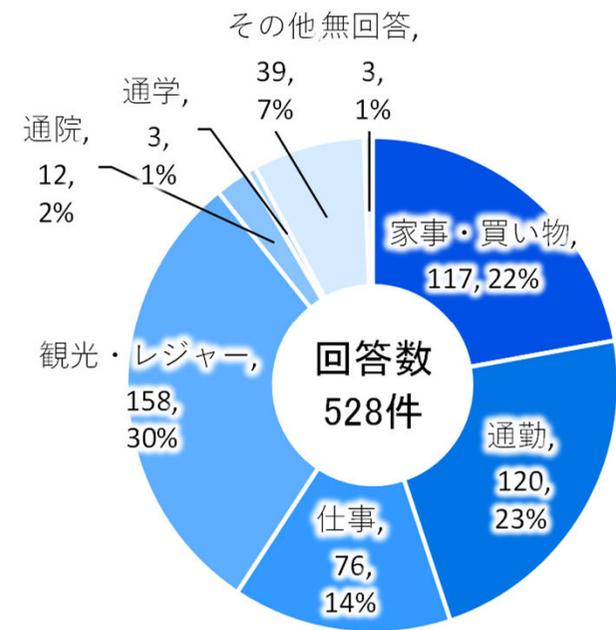
全体



地域住民アンケート



道路利用者アンケート

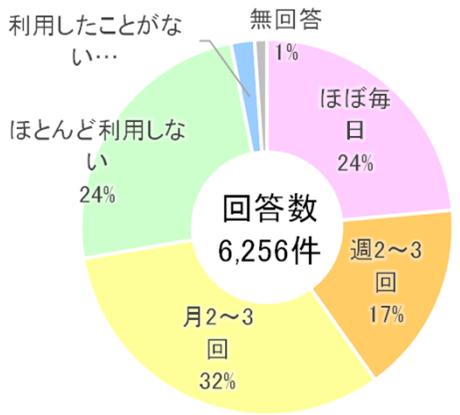


2. 第2回意見聴取の結果（回答者属性）

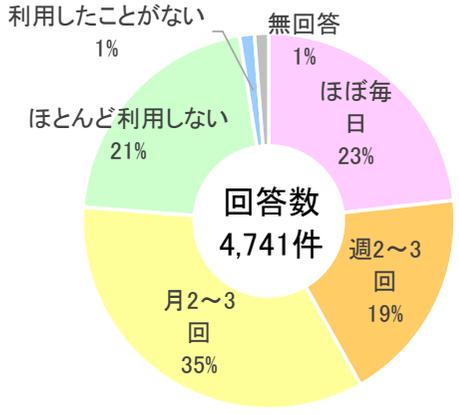
5) 対象者別の利用頻度特性

○利用頻度では、ほぼ毎日と週2～3回の利用者の回答で約4割を占めている。

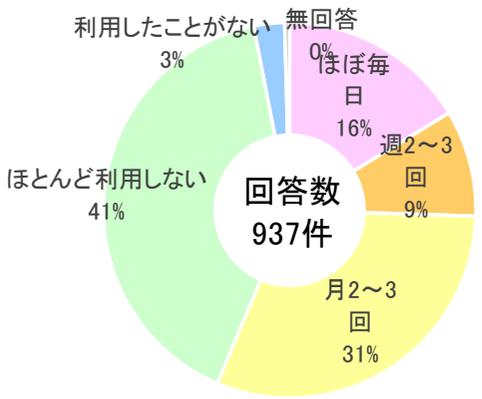
全体



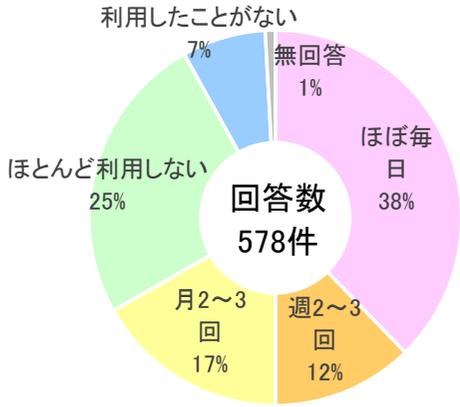
地域住民アンケート



道路利用者アンケート



事業所アンケート

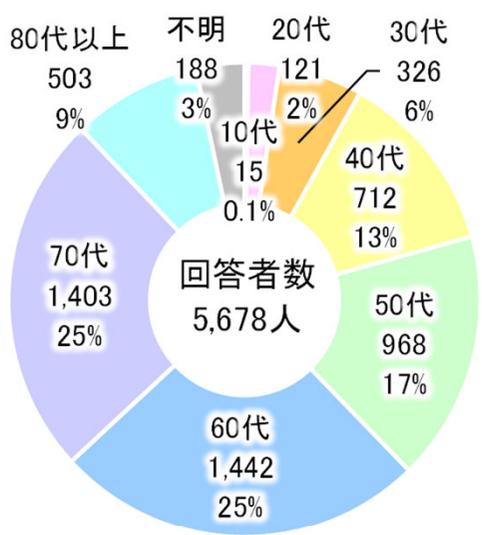


2. 第2回意見聴取の結果（回答者属性）

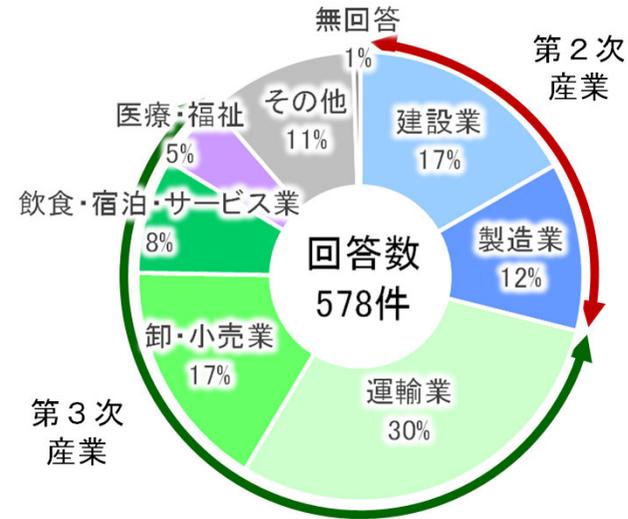
6) 既存資料との比較

○60代までの回答が約6割となっており、沿線自治体の年齢構成と概ね同様の傾向である。
 ○事業所の回答の半数以上が第3次産業からとなっており、沿線地域と概ね同様の傾向である。

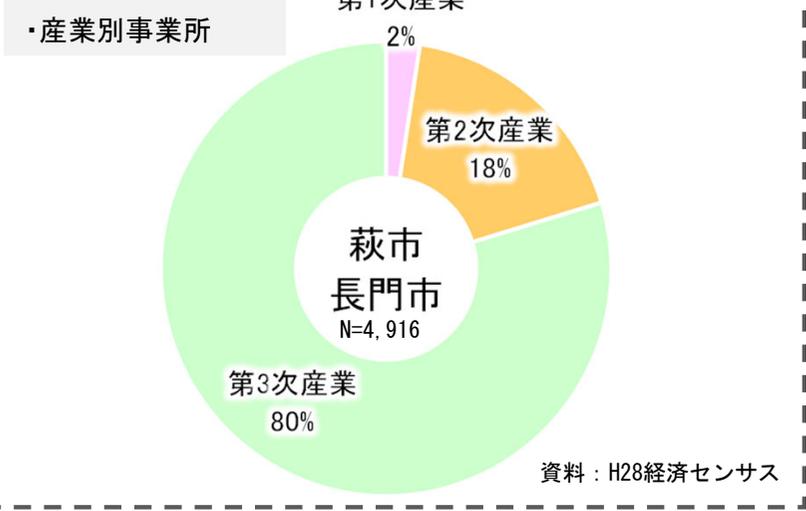
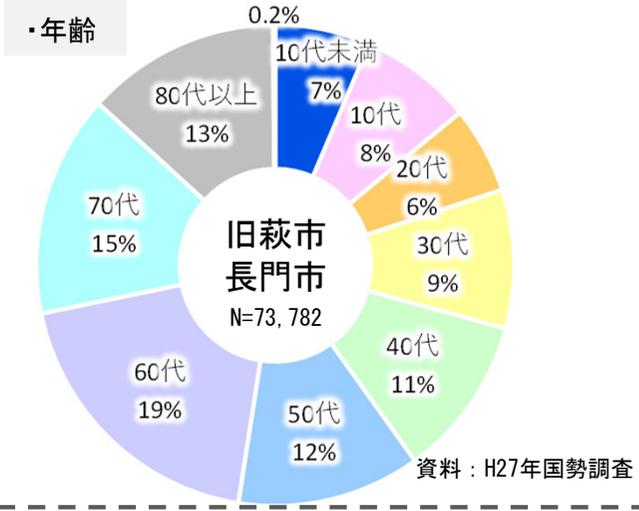
回答者の年代(地域住民)



回答者の職業(事業所)



【参考】沿線自治体の統計データ

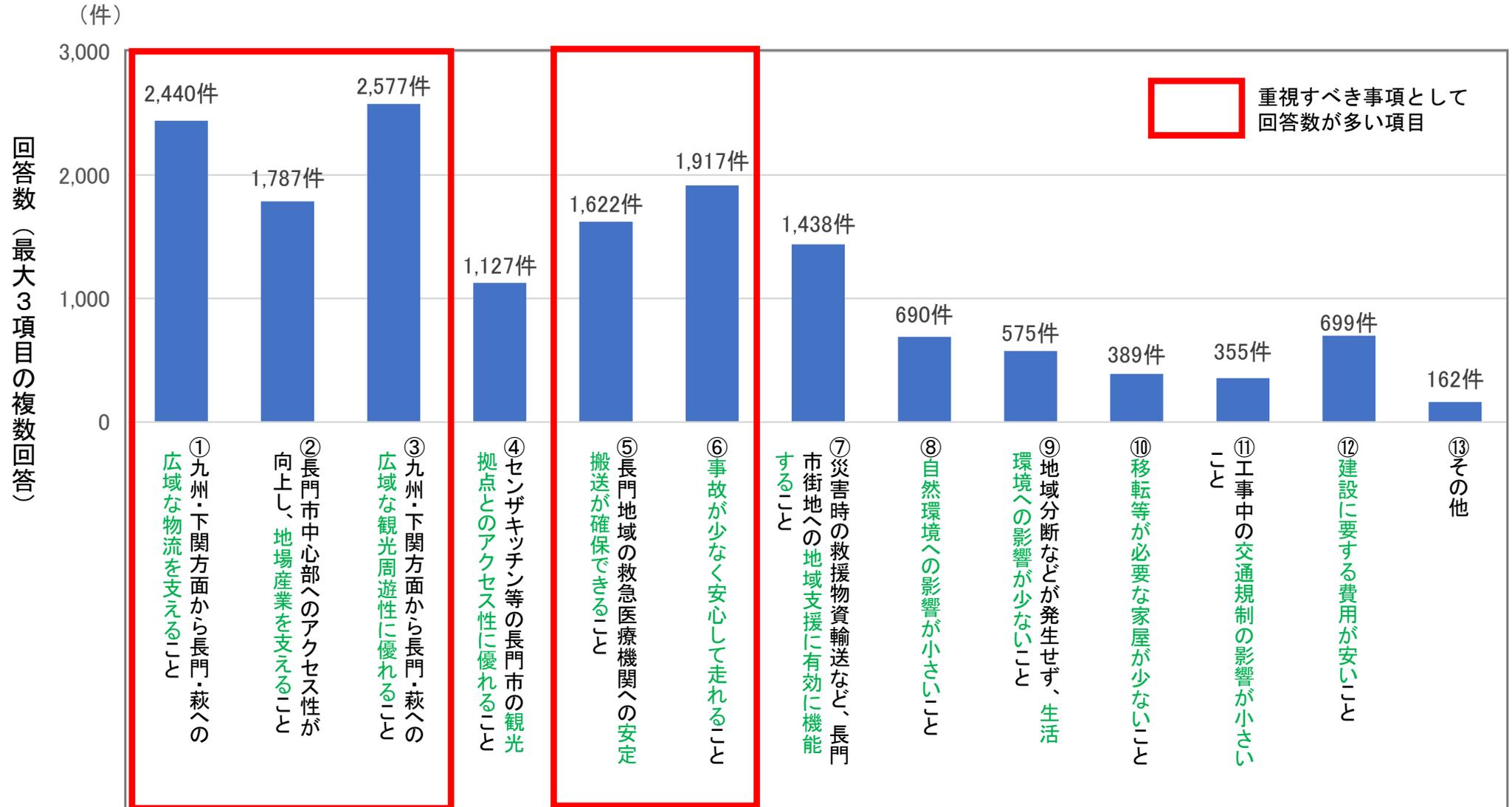


3. 第2回意見聴取の結果 (重視すべき事項)

3. 第2回意見聴取の結果（重視すべき事項）

1) 総括

○「望ましい案を考える際に重視すべきと思われる項目(最大3項目)」に関して、「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること」が最も多く、次いで「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること」「⑥事故が少なく安心して走れること」「②長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること」「⑤長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること」という声が多い。



※意見数（アンケート回答者数6,256人の内、質問1の回収者数5,722人／延べ合計意見数15,778件：1人あたり最大意見数3件の回答であるため5,722人と一致しない）

3. 第2回意見聴取の結果（重視すべき事項）

2) 対象者別の特性

○対象者別には、大きな差異は認められない。

特に重視すべきと思われる項目（合計意見数15,778人）		全体 （回答数:5,722人）			
		住民 （回答数:4,288人）	企業 （回答数:527人）	道路利用者 （回答数:907人）	
効果・改善点 道路整備による	① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること(2,440件)	43%	44%	46%	36%
	② 長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること(1,787件)	31%	30%	36%	36%
	③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること(2,577件)	45%	46%	34%	47%
	④ センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること(1,127件)	20%	18%	20%	28%
	⑤ 長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること(1,622件)	28%	29%	23%	28%
	⑥ 事故が少なく安心して走れること(1,917件)	34%	33%	40%	31%
	⑦ 災害時の救援物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること(1,438件)	25%	25%	27%	23%
配慮すべき点	⑧ 自然環境への影響が小さいこと(690件)	12%	12%	10%	12%
	⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと(575件)	10%	11%	10%	7%
	⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと(389件)	7%	7%	5%	5%
	⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと(355件)	6%	6%	12%	3%
	⑫ 建設に要する費用が安いこと(699件)	12%	12%	10%	13%
⑬ その他(162件)		3%	3%	2%	4%

※意見数（アンケート回答者数6,256人の内、質問1の回収者数5,722人／延べ合計意見数15,778件:1人あたり最大意見数3件の回答であるため5,722人と一致しない）

 重視すべき事項として回答数が多い項目

4. 第2回意見聴取の結果 (属性別クロス集計)

4. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析① (住所別・年齢別)

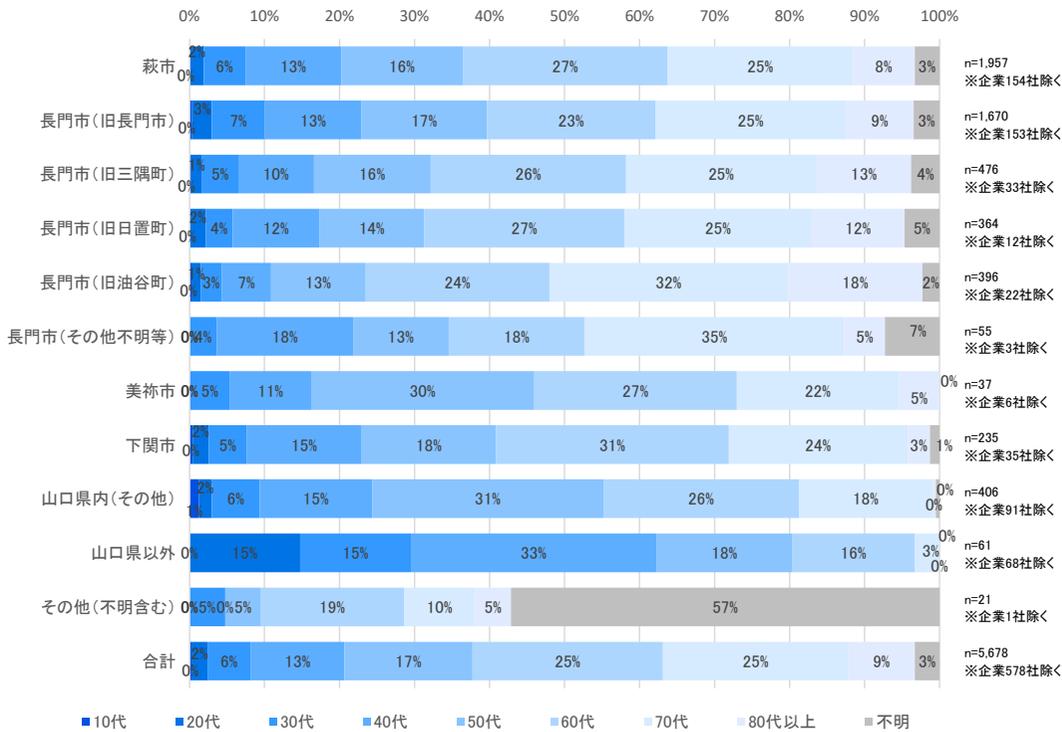
○住所別年齢は、萩市及び長門市では年齢構成に大きな偏りは無い。
 ○年齢別居住地は、長門市では20代と30代の回答率が高く、萩市では40代と60代の割合が高い。

【住所×年齢】

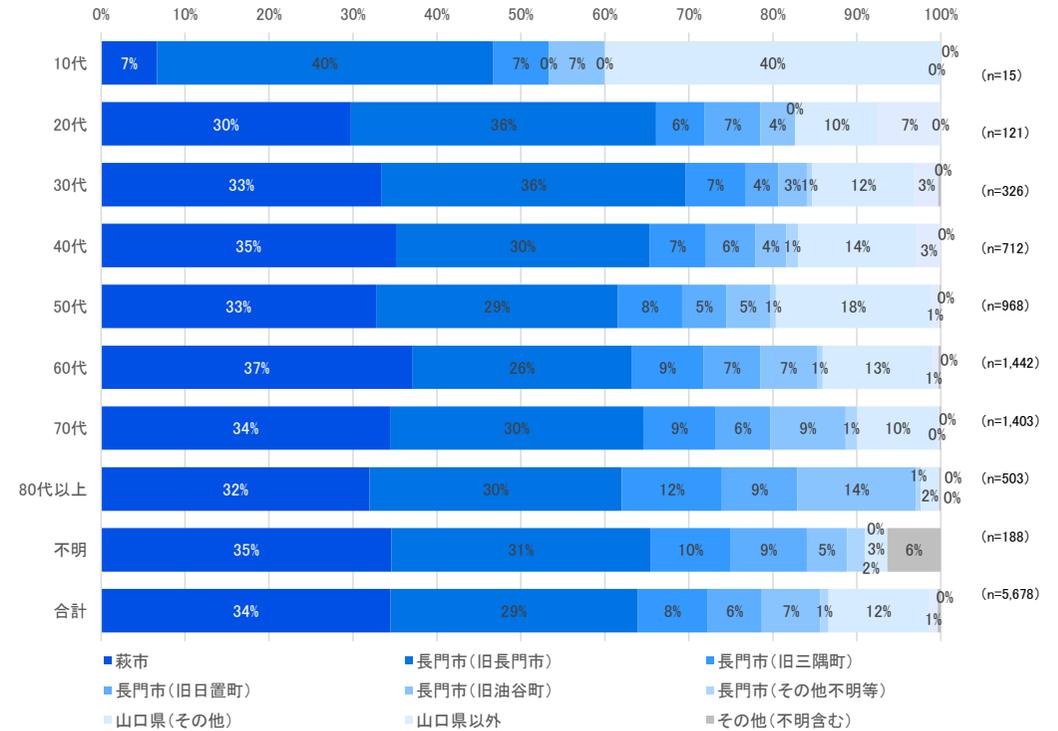
総回答者数 N=5,678

【年齢×住所】

総回答者数 N=5,678



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (n=578) を除く



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (n=578) を除く

4. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析② (年齢別)

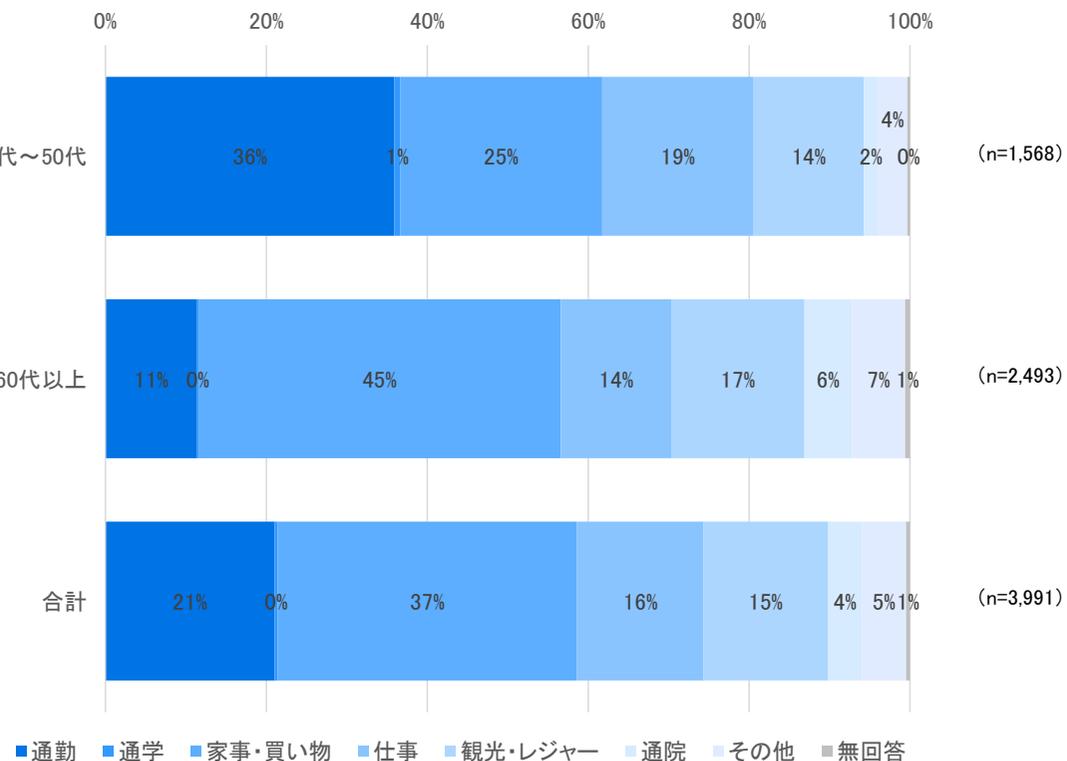
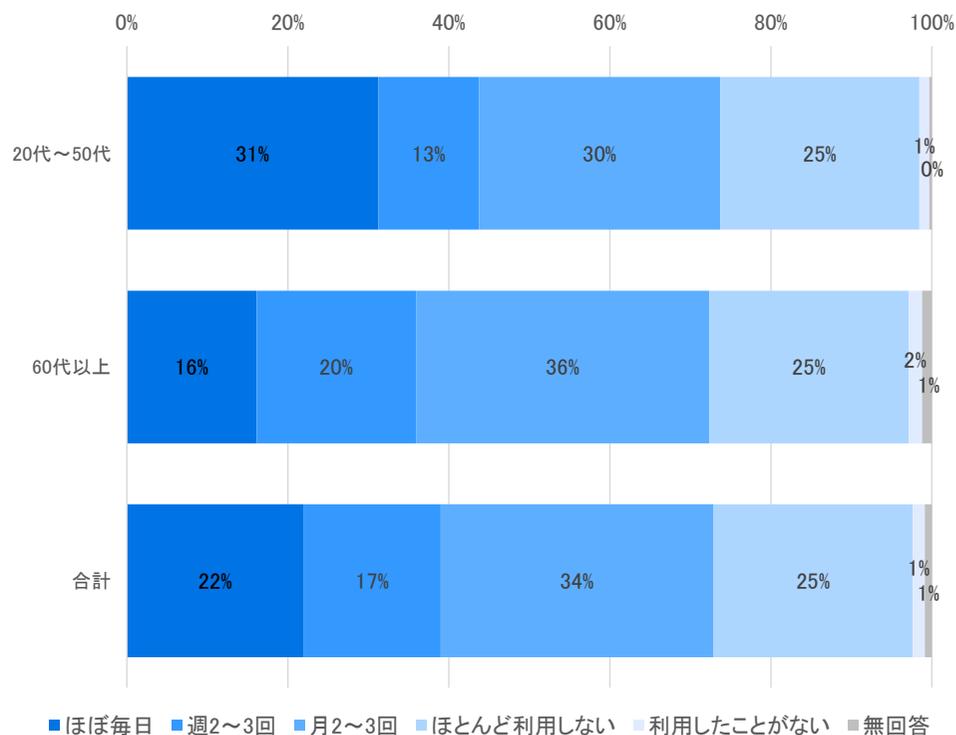
- 年齢別利用頻度は、高齢になるほど利用頻度が低い。
- 年齢別利用目的は20代～50代は通勤、60代以上は家事・買い物が高い。

【年齢×利用頻度】

総回答者数 N=5,475

【年齢×利用目的】

総回答者数 N=3,991



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※10代 (n=10)、不明 (n=188) 除く
 ※企業アンケート (n=578) を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※10代 (n=6)、不明 (n=143) 除く
 ※企業アンケート (n=578) を除く

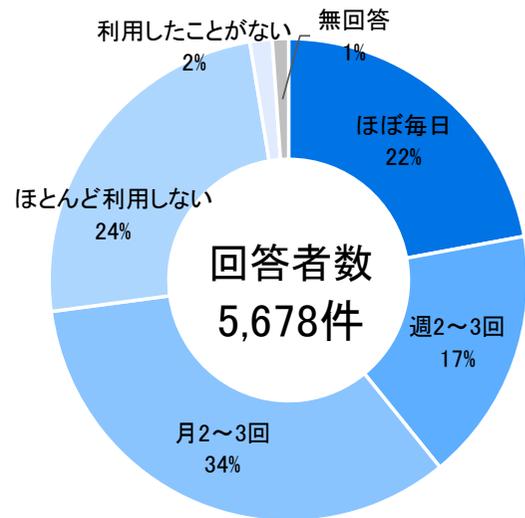
4. アンケートクロス集計結果

2) 利用頻度・目的分析（住所別）

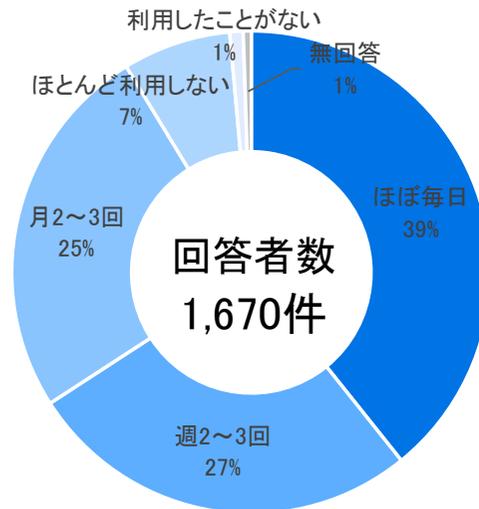
○住所別の利用頻度は、旧三隅町の利用頻度が高い。
 ○住所別利用目的は、全体では「家事・買い物」が最も多く、次いで「通勤」「観光・レジャー」となっており、旧萩市は「観光・レジャー」が多くなっている。

【住所×利用頻度】

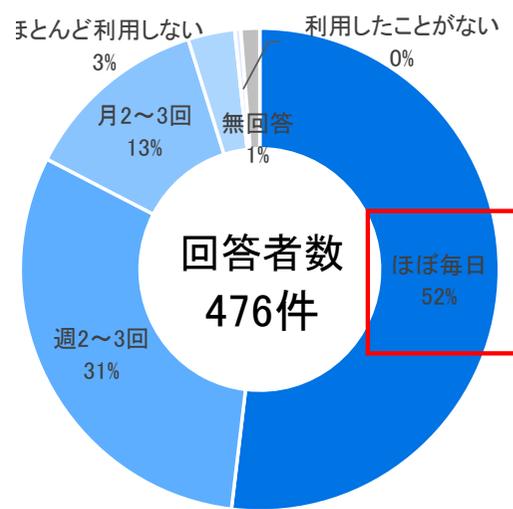
【全体】



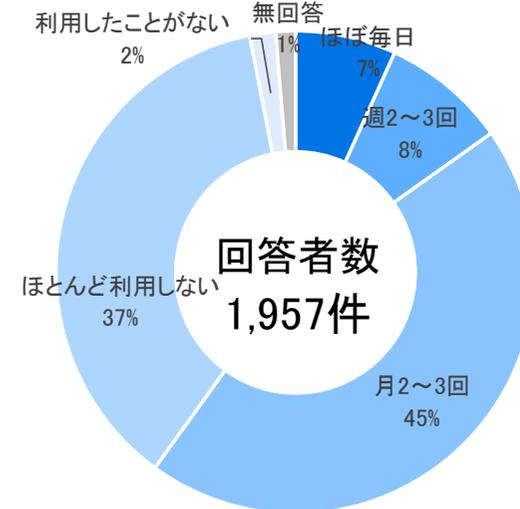
【旧長門市】



【旧三隅町】

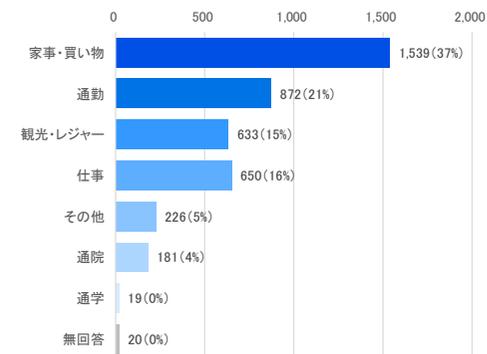


【旧萩市】

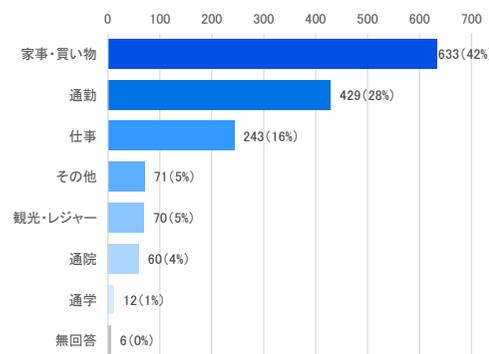


【住所×利用目的（住民・道路利用者）】

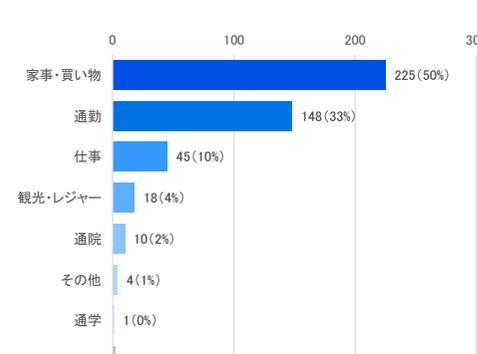
【全体】 目的回答者数 N=4,140



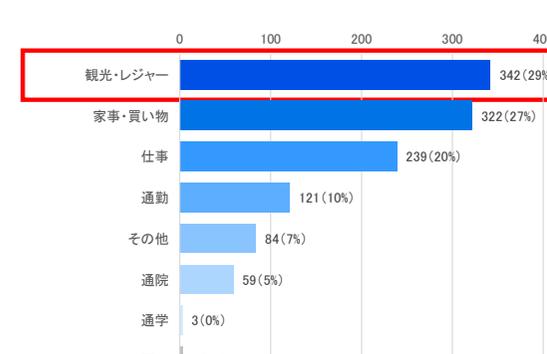
【旧長門市】 目的回答者数 N=1,524



【旧三隅町】 目的回答者数 N=453



【旧萩市】 目的回答者数 N=1,174



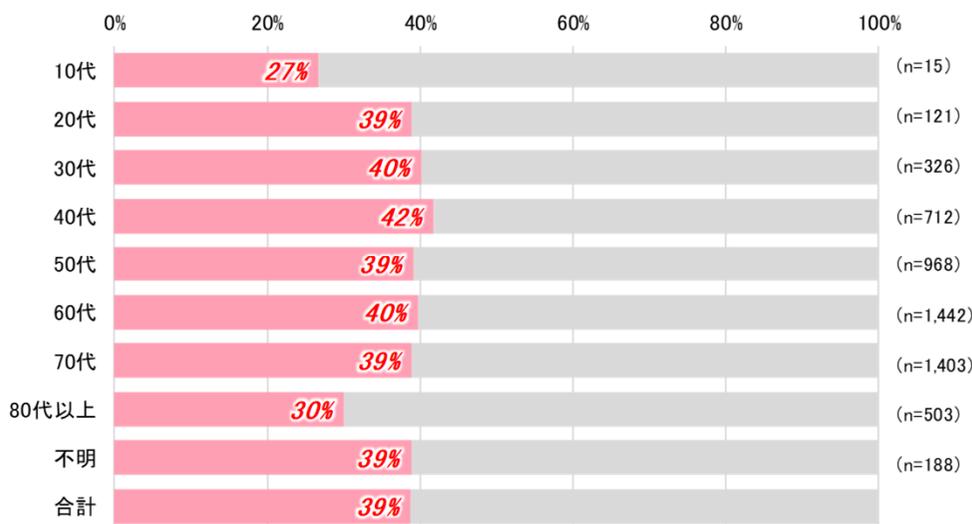
※住民アンケートおよび道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート（n=578）を除く

4. アンケートクロス集計結果

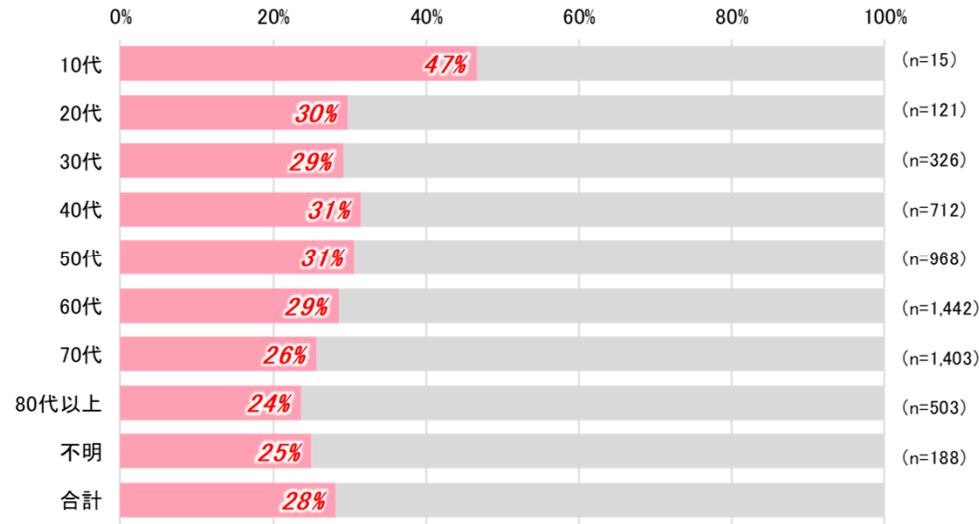
3) 対策案検討時に重視すべき事項①（年代別）

○「②長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること」「④センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること」は10代が「特に重視すべき」と回答している割合が高い。

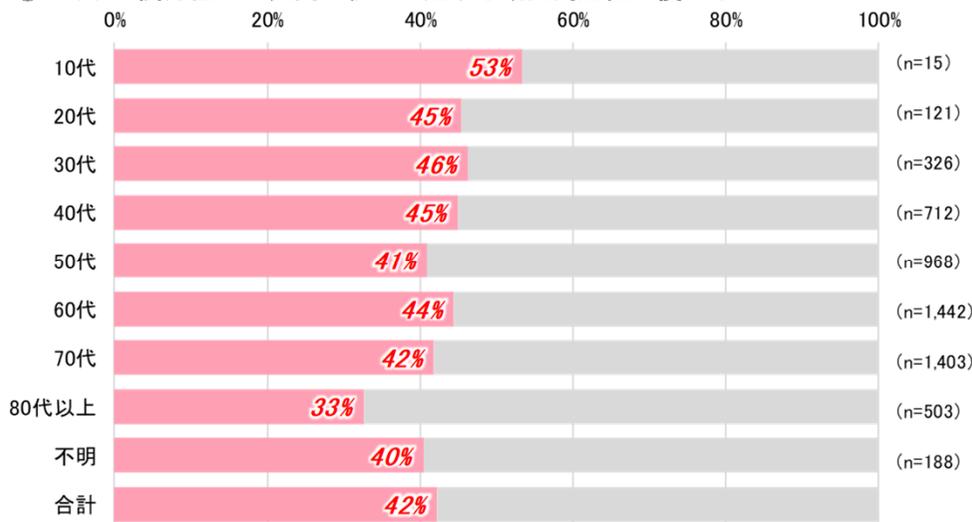
① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること



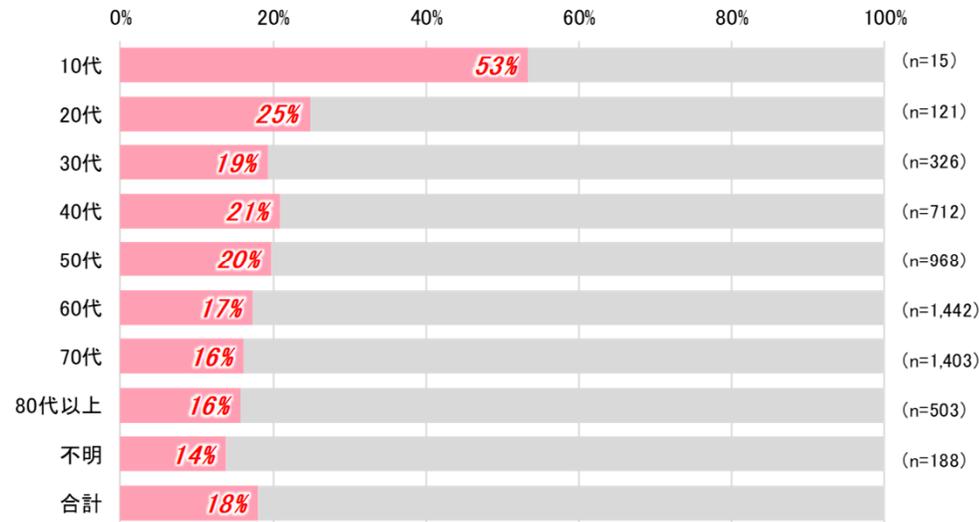
② 長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること



③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること



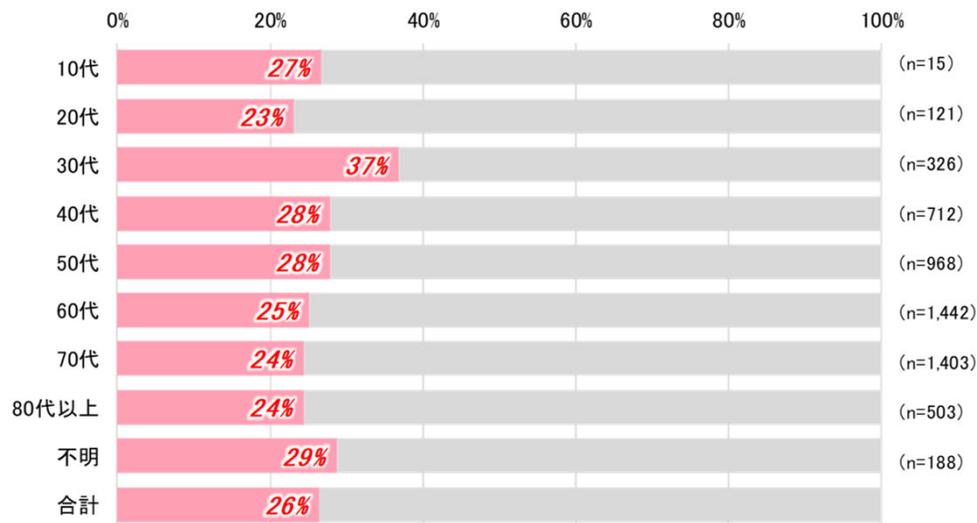
④ センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること



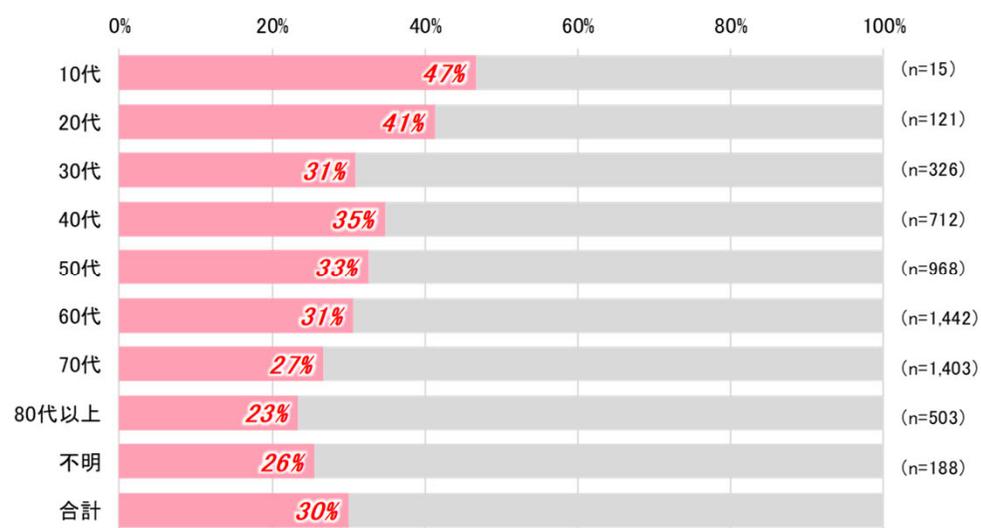
4. アンケートクロス集計結果

3) 対策案検討時に重視すべき事項①（年代別）

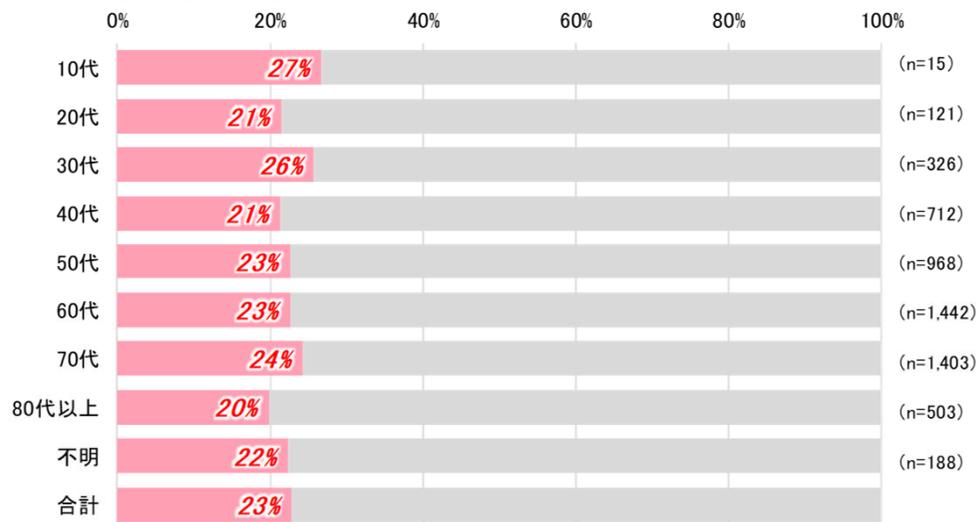
⑤ 長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること



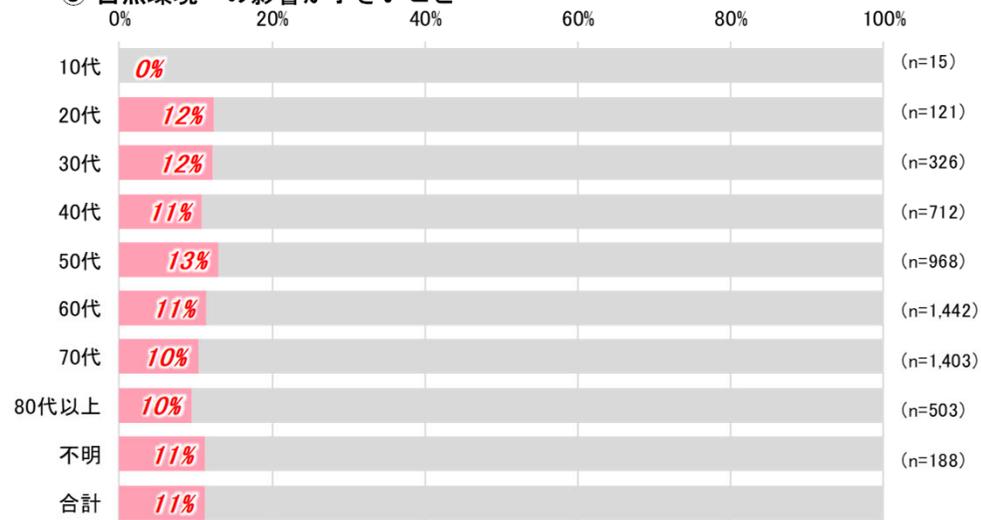
⑥ 事故が少なく安心して走れること



⑦ 災害時の救援物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること



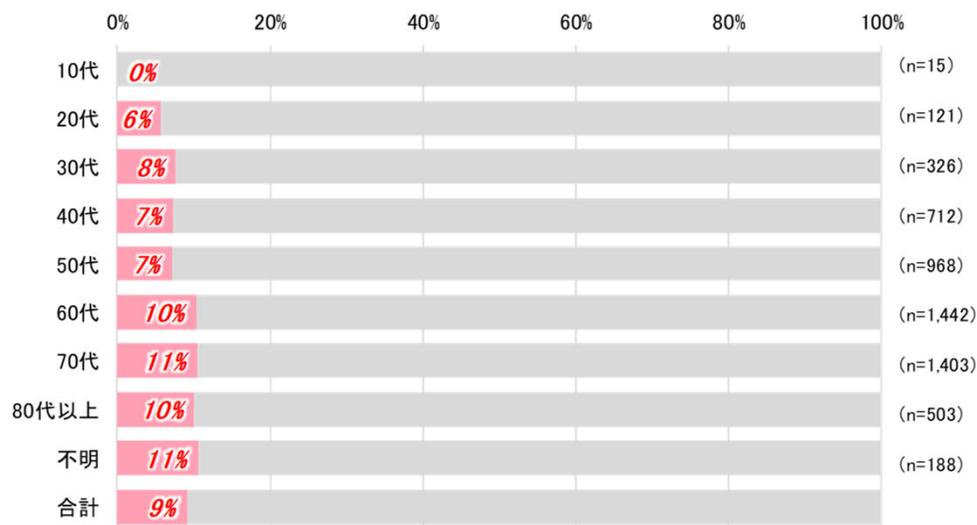
⑧ 自然環境への影響が小さいこと



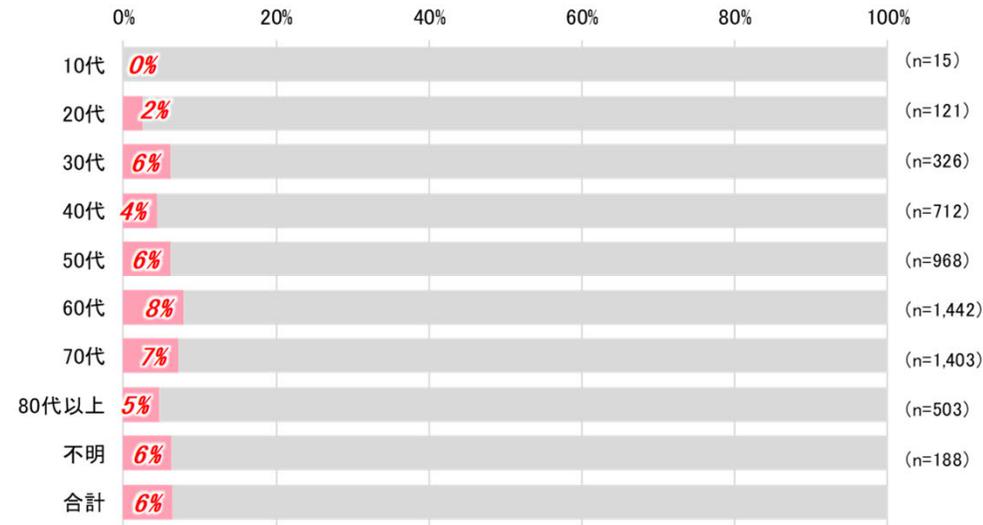
4. アンケートクロス集計結果

3) 対策案検討時に重視すべき事項① (年代別)

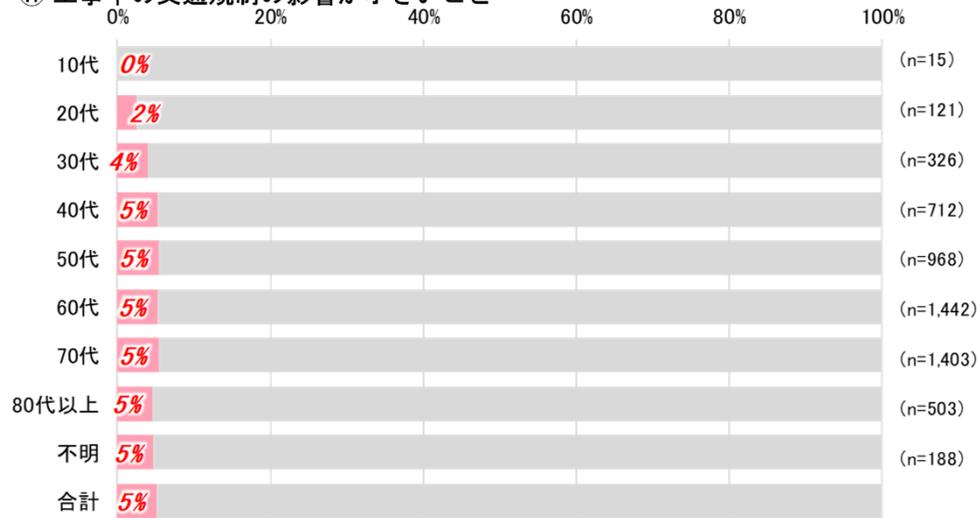
⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと



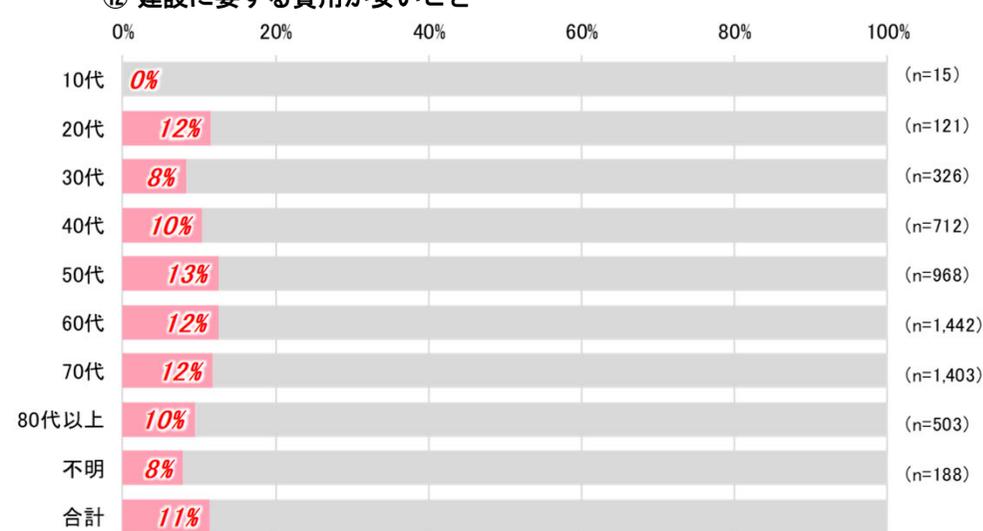
⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと



⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと



⑫ 建設に要する費用が安いこと

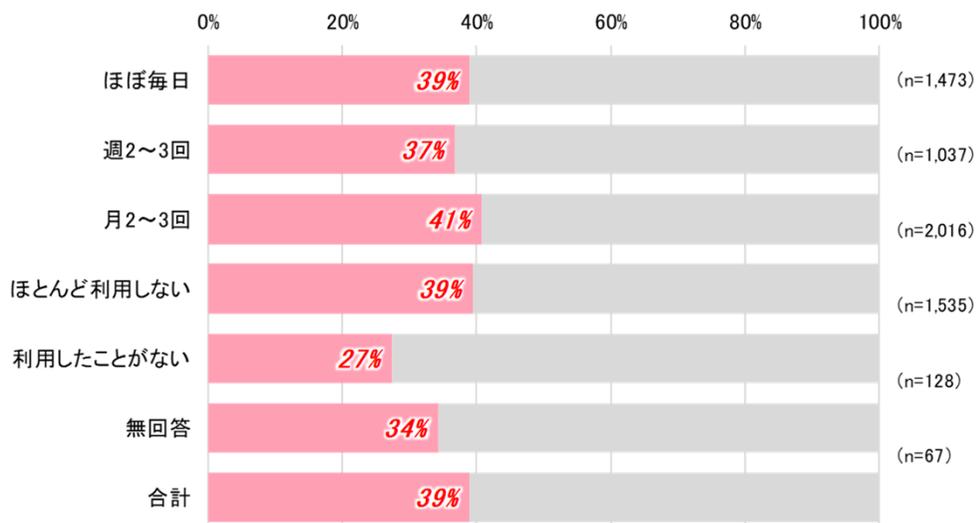


4. アンケートクロス集計結果

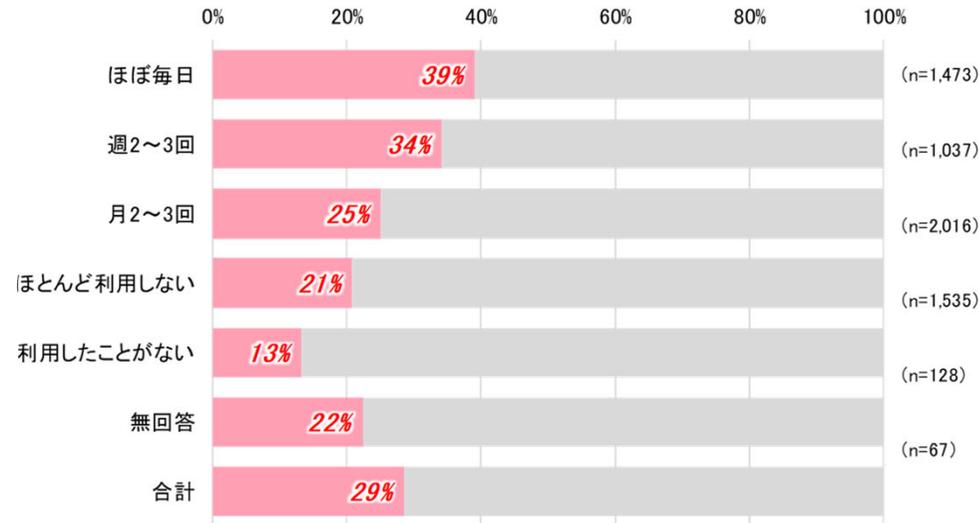
3) 対策案検討時に重視すべき事項②（利用頻度別）

「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること」「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること」「⑥事故が少なく安心して走れること」は利用頻度が低い回答者でも、他の項目に比べ「特に重視すべき」と答える割合が高い。

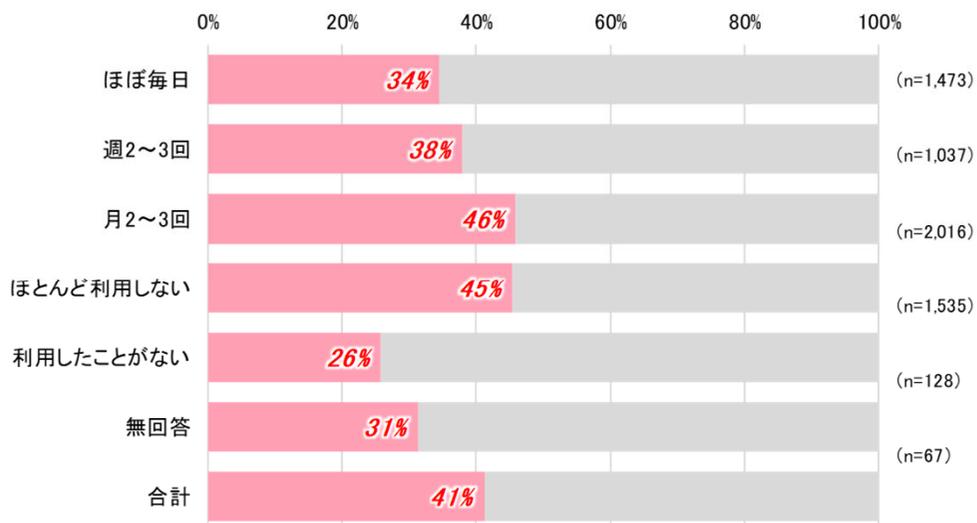
① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること



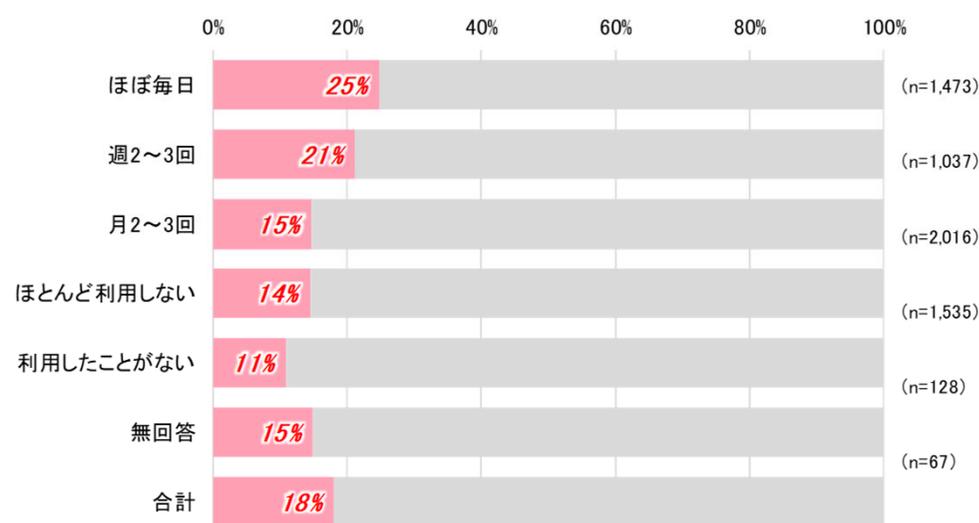
② 長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること



③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること



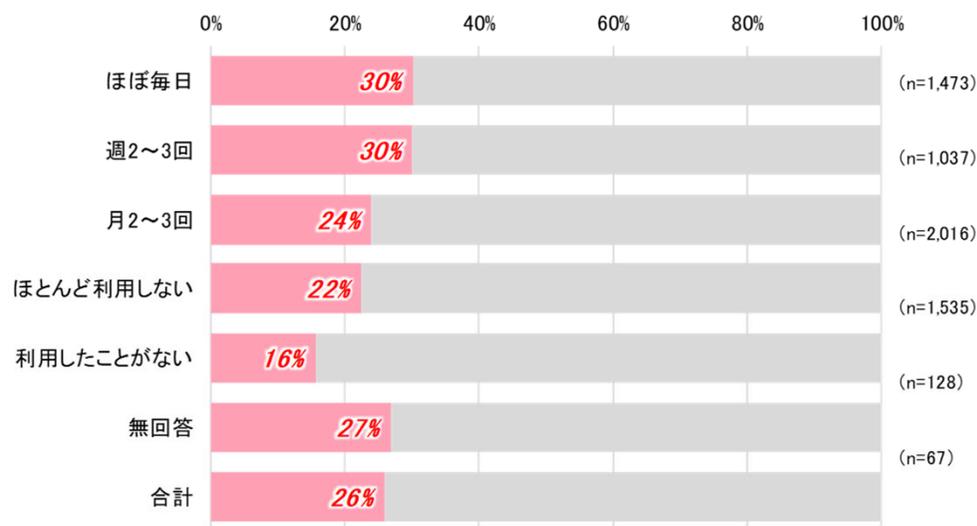
④ センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること



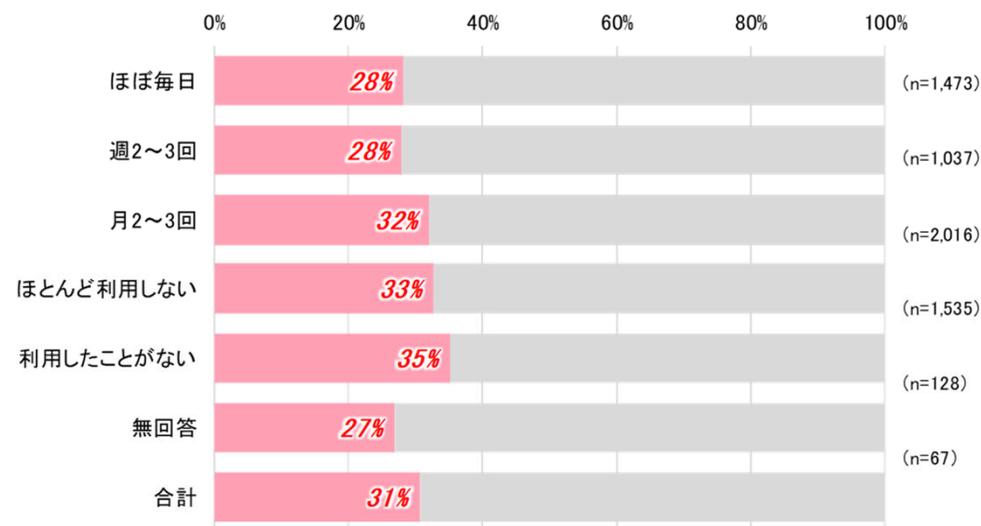
4. アンケートクロス集計結果

3) 対策案検討時に重視すべき事項②（利用頻度別）

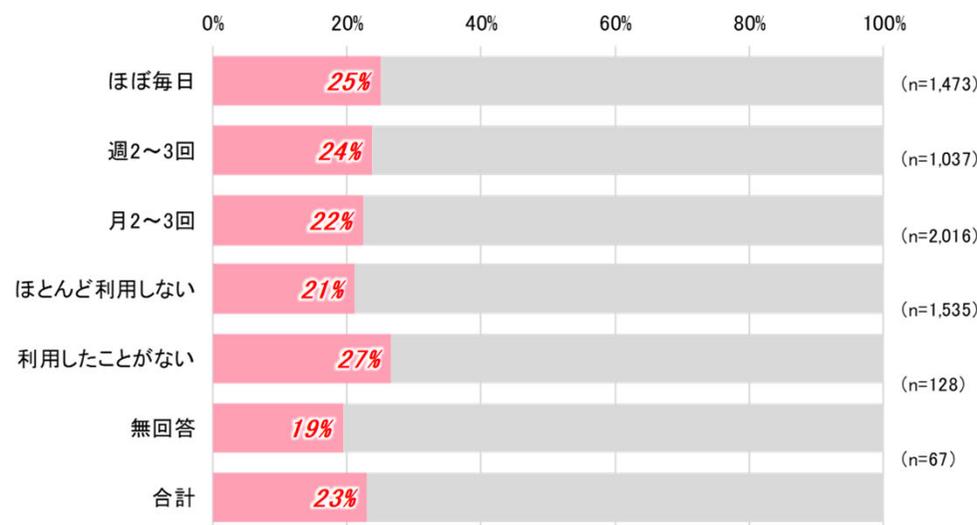
⑤ 長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること



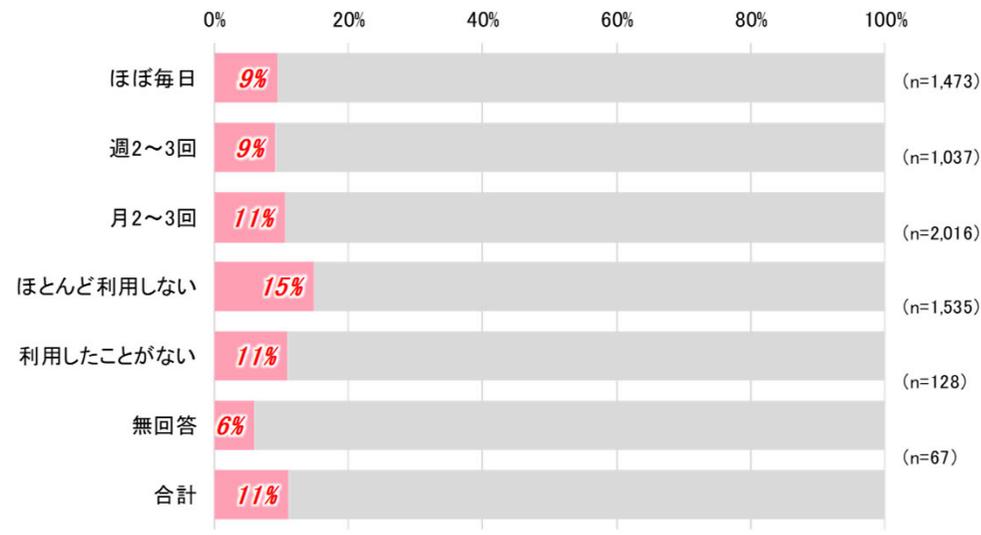
⑥ 事故が少なく安心して走れること



⑦ 災害時の救護物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること



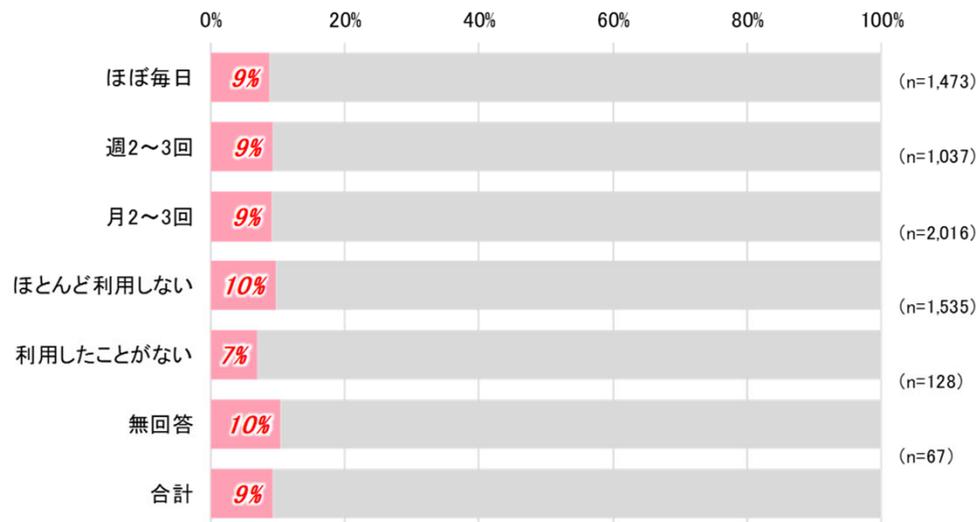
⑧ 自然環境への影響が小さいこと



4. アンケートクロス集計結果

3) 対策案検討時に重視すべき事項②（利用頻度別）

⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと



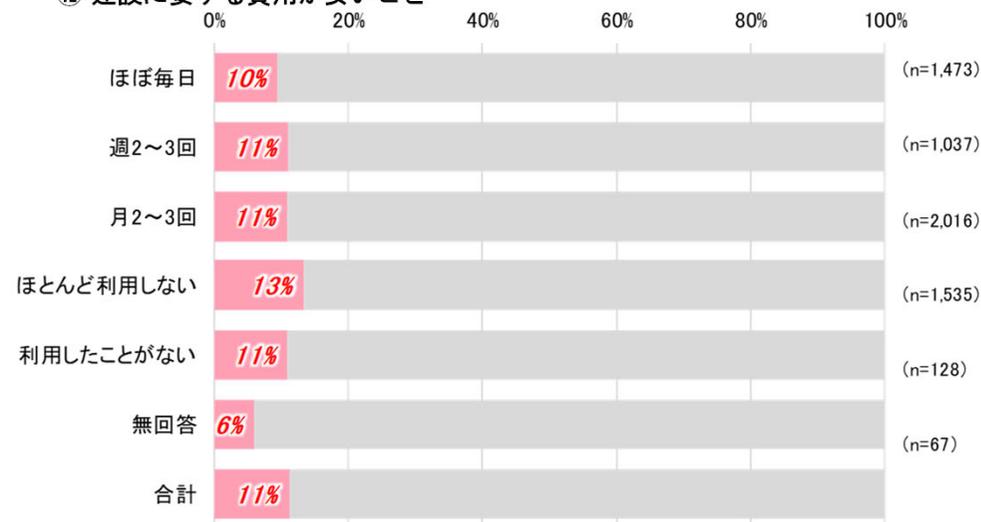
⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと



⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと



⑫ 建設に要する費用が安いこと

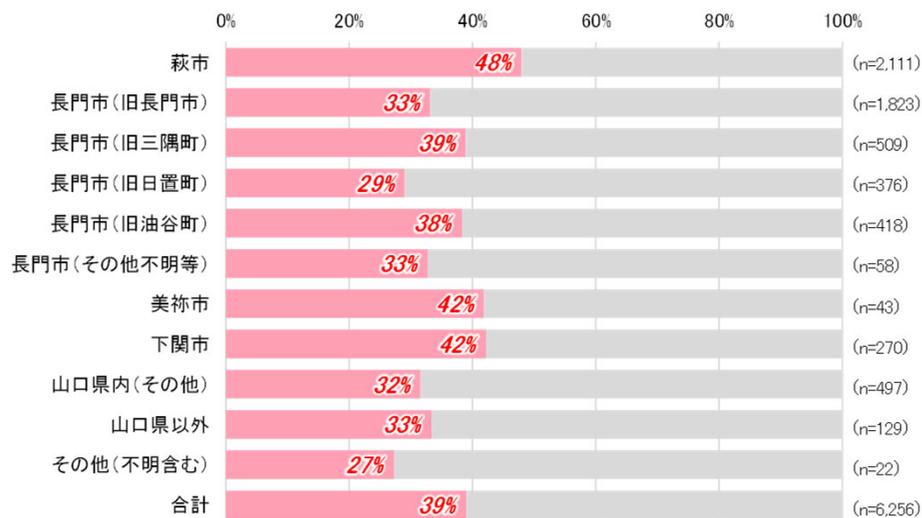


4. アンケートクロス集計結果

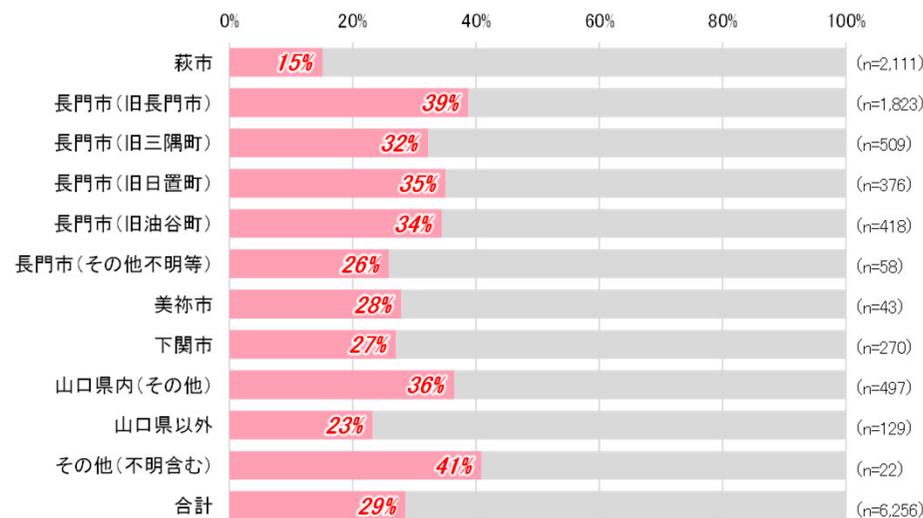
3) 対策案検討時に重視すべき事項③ (住所別)

「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること」「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること」は三隅～長門が通過しない萩市の回答者でも、他の項目に比べ「特に重視すべき」と答える割合が高い。

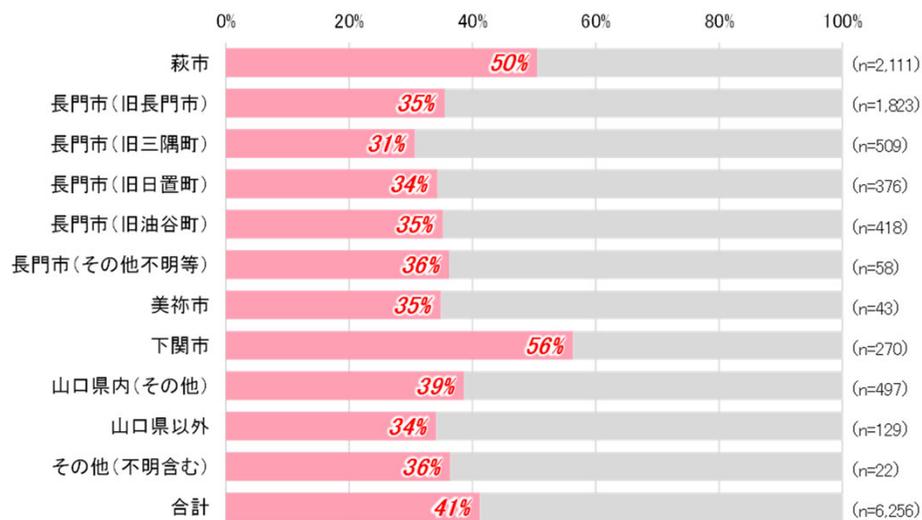
「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること」



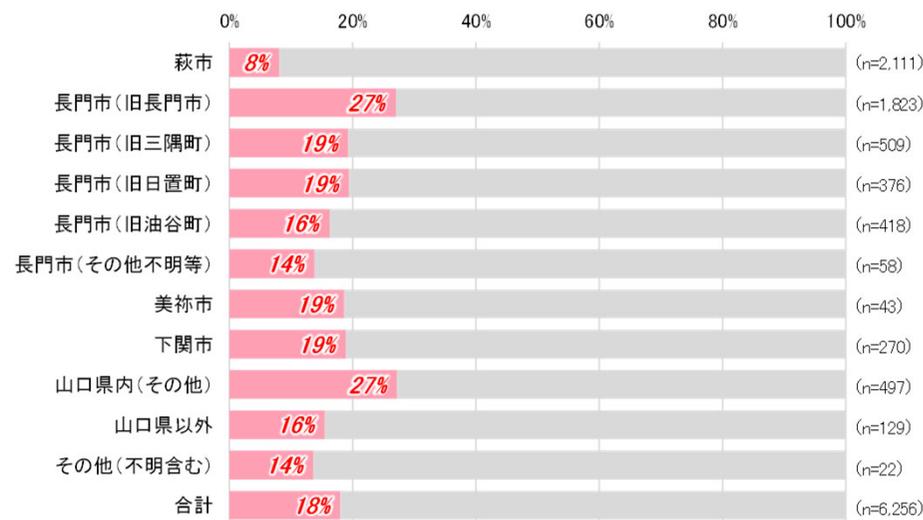
「②長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること」



「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること」



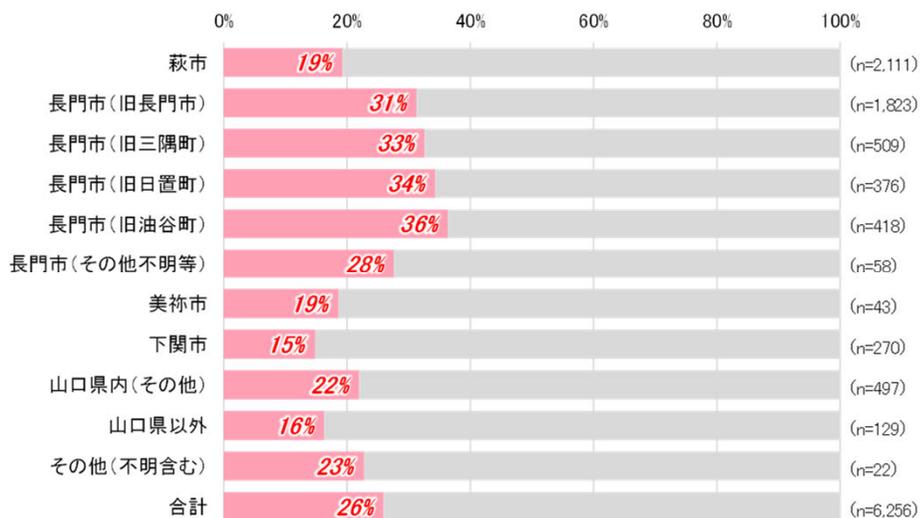
「④センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること」



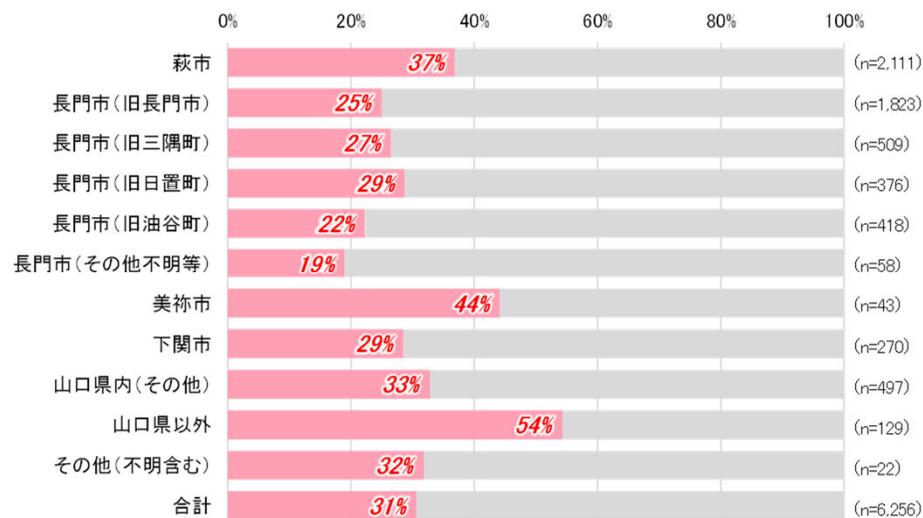
4. アンケートクロス集計結果

3) 対策案検討時に重視すべき事項③ (住所別)

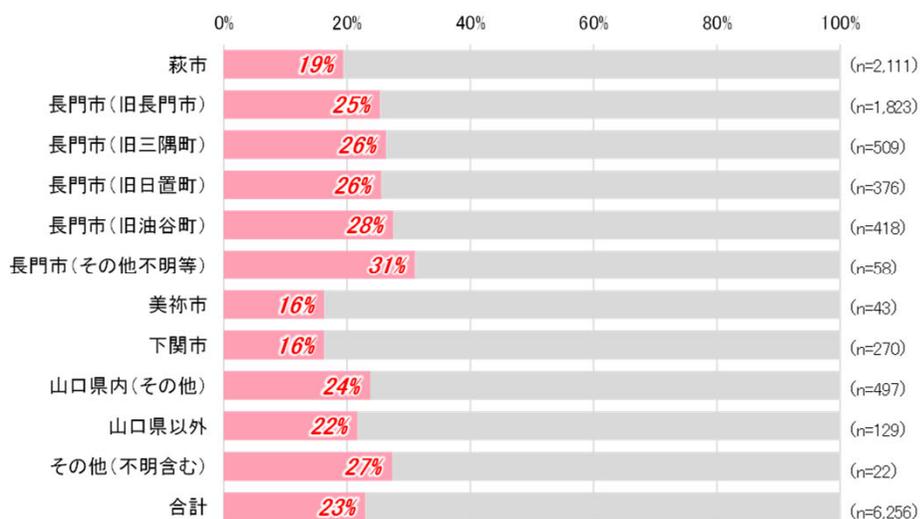
「⑤ 長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること」



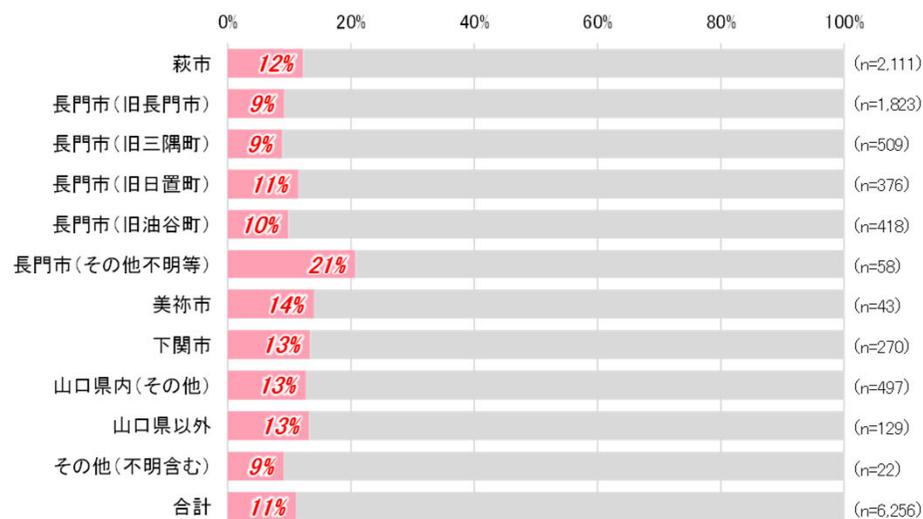
「⑥ 事故が少なく安心して走れること」



「⑦ 災害時の救援物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること」



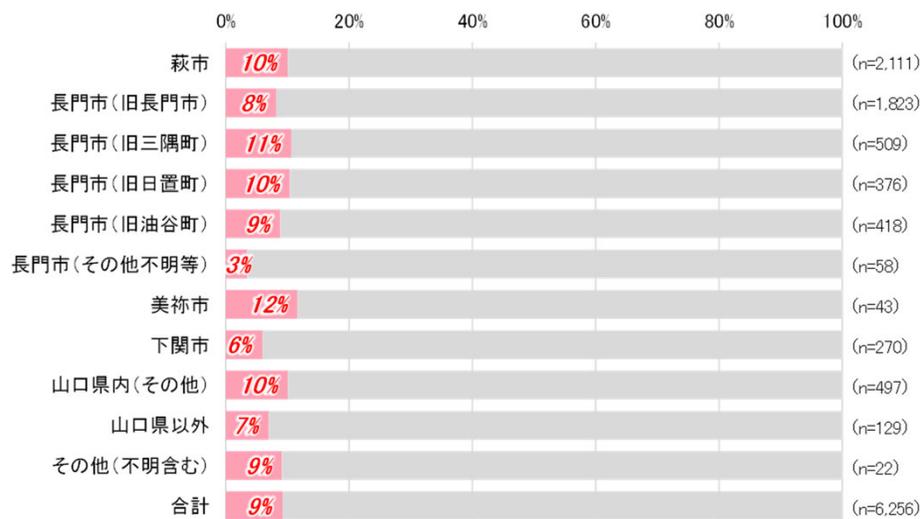
「⑧ 自然環境への影響が小さいこと」



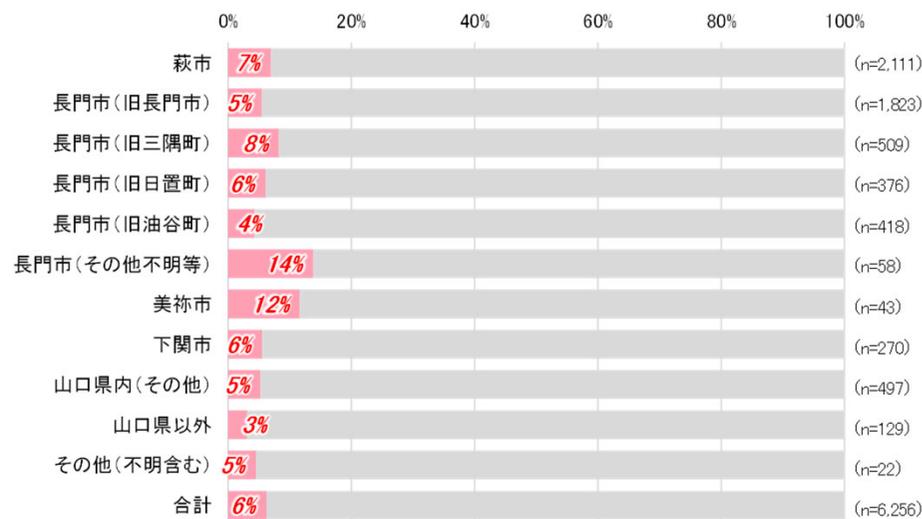
4. アンケートクロス集計結果

3) 対策案検討時に重視すべき事項③ (住所別)

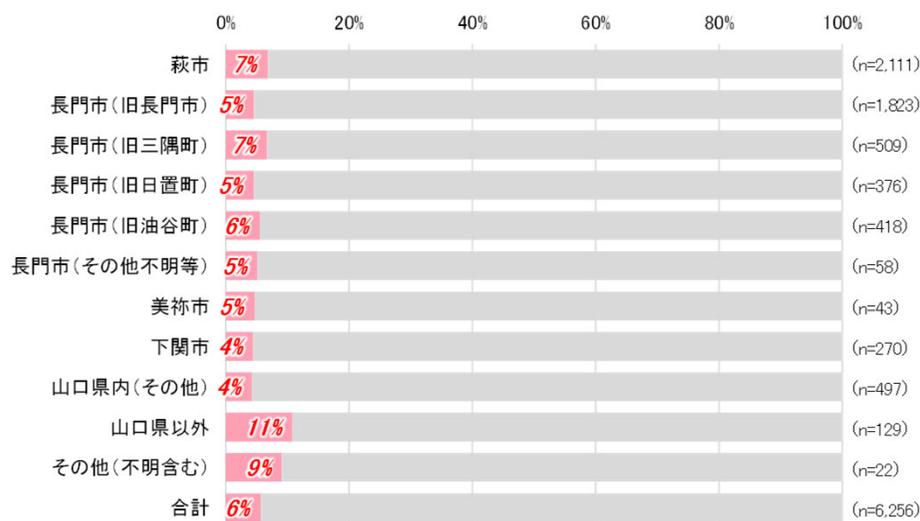
「⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと」



「⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと」



「⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと」



「⑫ 建設に要する費用が安いこと」

